

続・ふるさとこぼれ話

祖母井東宝物語④

第61回

映画館の売店を最初に始めたのは、当時祖母井で唯一の八百屋だった小池商店の小池倉吉・キミさん夫妻である。

昼間は八百屋商売、夕方になると店を閉めて、映画館の売店を開いた。店先で焼きながら売った焼きいもが人気で、子どもや女性がよく買ってくれた。また、統制品であったスルメを、古谷肥料店の奥さんの実家、下館の乾物商松屋から仕入れ、煮イカにして売った。これは、一番人気の商品だった。ほかに芋飴・ねじれん棒おこし・せんべい・駄菓子などを店に並べた。小池さんは、八百屋が忙しくなり、3年ほどで

売店を閉めた。後を引き継いだのは、映画フィルムの運び屋、稲延静一さんの母、三子さんだった。冬は、自宅(いねや菓子店)で作ったおでんを、重い鍋ごと頑張って映画館まで運んだ。練炭七輪の上で温められたおでんは、お客さんに人気があり、よく売れた。夏は、手作りの棒付アイスキャンデーが喜ばれた。三子さんは愛嬌があったので、店は繁盛した。

祖母井東宝で働いていた人々は、時には仕事が辛く苦しいこともあった。映

画フィルム運び屋、稲延静一さんは、でこぼこ道を走るオートバイの振動で胃下垂になったそうだし、お客さんが映画を見て、泣いたり、笑ったり、大拍手する姿を見るときが体の中から湧いてきたという。



▲小池倉吉・キミさん夫妻

しまたがしの芳賀の自然 13



スジグロシロチョウ チョウ目シロチョウ科

写真提供=芳賀町自然に親しむ会
分布=北海道~本州・沖縄
生息地=山地から平地の林や原野など、人家の付近(畑の周辺)
時期=3月~10月
食性=幼虫はアブラナ科のイヌガラシ・ダイコンなど
大きさ=開張(羽を広げた最大値) 50~60mm
特性=夏型は羽の表が黒く筋が強く現れ後は白い。
※モンシロチョウは羽に黒い二つの紋があるので本種とは区別する。

編集後記

□広報担当となり、4年が過ぎました。この間、多くの方々との出会い、さまざまな経験をすることができました。
□また、日々の取材や編集では、多くの町民の皆さんにご協力いただき「広報紙は、皆さんのおかげで作られているものなんだ」と実感しました。

■4月1日付で異動。新たな職場でも「皆さんに分かりやすい情報の発信」を心がけていこうと思います。4年間ありがとうございました。
(サ)



■編集 芳賀町広報広聴委員会
☎028(677)6032 ✉kouhou@town.haga.tochigi.jp
■発行 芳賀町企画課
栃木県芳賀郡芳賀町大字祖母井1020番地
■芳賀町ホームページアドレス
http://www.town.haga.tochigi.jp
④芳賀町の携帯サイトはコチラから➡

